

日工販ニュース Vol.4 — 2014



年 頭 所 感	日本工作機械販売協会 会長 上田 良樹	2
	経済産業省製造産業局 産業機械課長 須藤 治	4
	一般社団法人日本工作機械工業会 会長 花木 義麿	6
話 題 の 技 術	「インテリジェント複合加工機「MULTUS U3000、U4000」 オークマ(株) 柴田 英孝	8
リレー随筆	(株)山 善 上大迫顕基	10
私の読書評	「言える化「ガリガリ君」の赤城乳業が躍進する秘密」 (株)ジーネット 森重 博正	11
工作機械と私	釜屋(株) 保田 高広	12
ひとくち豆知識	「切削工具材種と材質」	13
私の軌跡	三洋マシン(株) 青木 伸浩	14
議 事 録	「理事会」「調査広報」「西部中堅・若手研修会」 「東部講演会・忘年懇親会」「中部講演会・忘年懇親会」「西部講演会・忘年懇親会」 「中部工場見学会」「西部製品研修会」「東部工場見学会」「中部製品研修会」…	16
S E 教 育	「平成25年度 SE 講座・更新研修実施報告」 「『提案営業力&技術提案力』向上研修会」「SE・更新合格者」	30
統 計 資 料	「FA流通動態調査1」「マシニングセンタ・NC 旋盤動向」 「工作機械業種別受注額」	36
甘 口 辛 口	「理想のリーダー像」 (株)テヅカ 山崎 元士	39
消 息 ・ 行 事		40
会 員 会 社		41

年頭所感



日本工作機械販売協会 会長

上田良樹

皆様 新年明けましておめでとうございます。

健やかに新春を迎えられたことと存じます。

旧年中は当協会に対し一方ならぬご厚情と温かいご支援を賜りありがとうございました。あらためて御礼を申し上げますとともに、本年も引き続きご厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年の工作機械受注は、前半は中国市場の不振等もあり先行きが心配されましたが、9月に入り12か月ぶりに月間受注額1000億円を超え、翌10月には18か月ぶりに前年比プラスに転じました。内需は、アベノミクスによる数々の支援策や円高是正による製造業の収益改善を背景にようやく明るさを取り戻し、緩やかではありますが回復基調に入って参りました。一方、外需は、北米向けが依然好調を維持しており、欧州向けも上昇基調にあります。アジアについても政局混乱、通貨安等で踊り場状態が続いていますが、中長期的には底堅い成長市場を抱えており、必ず復活してくるものと考えています。

今年は甲午(きのえうま)です。甲は木、午は火を表し、真夏に立つ大樹のような状態だそうです。厳しい環境下でも全力で前進すれば、酷暑の夏でも葉が生い茂っているように、大願成就する運氣とのこと。内・外需とも改善に向かっており、今年は将来につながる飛躍と成長が期待されます。このようにビジネスチャンスが広がる中、我々商社としていかに臨んでいくべきか、新年にあたり私の考えを述べさせていただきます。

1. 「連結モノづくり」への対応

今や日本拠点を含めたグローバル体制でモノづくりが推し進められており、今後ともこの動きが加速されて行くものと思われます。ところで、2012年末からの為替動向と工作機械受注の内需比率動向を調べてみましたが相関性はほとんどありませんでした。2012年11月の円ドルレートは81円で、これが昨年5月には101

円と25%円安になりましたが、工作機械の内需比率は34%から30%へと4%落ちました。また、昨年11月は100円と5月とはほぼ同じ円安水準であり内需比率は41%と7%上がりましたが、これも為替の変動幅から見ればわずかな変動です。通年でみれば内/外需比率は30/70~40/60%の間で安定的に推移しており、自動車業界を中心に「為替の動向に左右されず需要のあるところで生産する」というスタンスがより明確になっています。日本で担うべき仕事と海外で展開する仕事を全体最適視点から定義し、これを一体運営して行くという、連結経営ならぬ「連結モノづくり」が今後も拡大して行くものと思われます。日本が原点であり軸足も日本にあることは変わりませんが、我々商社としても、グローバル連結目線で考えて対応していく姿勢が一層必要になっているものと考えます。

2. イノベーションの担い手

モノづくりはイノベーションの連続です。イノベーションとは「新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす変革である」とされています。それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れ新たな価値を生み出していく行為であり、まさにモノづくりの根幹をなすものですが、この礎となっているのが工作機械であり、我々の働き場は今後も拡大していくものと考えます。それではこのイノベーションの担い手は誰なのか。勿論、お客様であり、機械メーカー様ですが、我々商社がその担い手になることはないのか。市場のニーズが多様化し、迅速な変化・対応が要求される状況下、各産業と広範な結節点を有し、全体俯瞰できる立場にある商社がプロアクティブに行動し、仕掛けて行くことも必要ではないかと考えます。常々お話していますが、日本のモノづくりの強みは、お客様-商社-機械メーカー様が三位一体となって目標を共有し、機能を分担しながら迅速に具現化して来たことにあると考えています。我々商社としても、今一歩踏み込んで全体最適視点に立って提案していくことが期待されているのではないかと思います。

3. 日工販の役割

日工販には正会員、賛助会員を合わせて日本全国から146社が参加しています。多種多様な製品、産業に携わっているプロ集団であり、全体では相当に広範な地域、産業に接していることになります。上にも述べましたが、この力を結集し、発揮していくことが日本のモノづくりの発展につながるものと考えます。日工販をそのプラットフォームとして強化し、進化させて参りたいと思います。日工会殿をはじめ関係諸団体、メーカー様との連携を密にしながら、広範なネットワーク、情報力を発揮して日本のものづくりの進化、発展に貢献して参りたいと思います。SE教育に加えて提案力向上セミナーなどの人材育成プログラムを実施するなど、必要な打ち手を積極的に施して参りたいと思いますので、本年も引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

景気の気は気力の気とも言われます。皆様、気力を十分に満ち、一丸となって元気良く新しい門出を駆け出して行こうではありませんか。

年頭所感



経済産業省製造産業局 産業機械課長

須藤 治

平成26年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年末、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略のアベノミクスの「三本の矢」により、我が国経済は着実に回復しつつあります。本年は、こうした動きを確実な成長軌道へつなげていくために「民間投資を喚起する成長戦略」を推し進め、長期にわたる低迷から復活に向けて歩み始めた我が国製造業の振興を強力に進めたいと思います。

昨年12月に成立した産業競争力強化法には、成長戦略の確実な実行を図るため、企業の技術力や創意工夫を生かした新たな規制改革の道筋を創設する「企業実証特例制度」や「グリーゾーン解消制度」、事業再編の促進等の諸制度が盛り込まれています。また、民間投資活性化等のための税制として「生産性向上設備投資促進税制」の創設、「中小企業投資促進税制」の拡充を措置いたしました。

本年4月には消費税率引き上げが予定されており、増税後の反動減も懸念されているところですが、こうした影響によって景気の腰折れやデフレ脱却に向けたチャンス逃してはなりません。そのため、上記の各種支援策を講じて国内景気の下支えや、果

敢にチャレンジする企業を応援してまいります。

また、アジアを中心とする新興国の成長を取り込み、日本の優れた技術を世界に提供していくことも重要な課題です。そのため、最先端のインフラシステム輸出や国内外の企業の連携等による海外展開を後押しすべく、関係部署とも連携しながら、トップセールスや海外進出のための環境整備等を積極的に実施してまいります。

一方、中長期的な視点に立つと、我が国は高齢化や労働力人口の減少、エネルギー供給不安といった諸課題に囲まれており、課題先進国であるという状況に変わりはありません。こうした中、世界中の国々は、日本が如何に対処するのか注目をしています。そのため、今後ともこういった課題を解決していくと同時に、新しいビジネスをいかに創出していくのかということが益々求められています。

その一例として、昨年6月に閣議決定された日本再興戦略には、当課が厚生労働省とともに進めている「ロボット介護機器開発5カ年計画」が盛り込まれています。今や団塊の世代が65歳以上となり、今後10年間で日本の総人口に占める高齢者の割合は30%に達します。そのため、介護を巡る様々な課題に対して有効な手段を講じていくことが急務となっています。今後こうした課題解決の一端をロボット技術が担うとともに、関連するロボット産業がさらに発展するよう、各種施策を実施してまいります。

産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があったら、気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。

年頭所感



一般社団法人日本工作機械工業会 会長

花 木 義 麿

平成26年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年の工作機械市場は内外の経済回復に伴い、緩やかな回復が進みました。国内では、いわゆるアベノミクスによる経済対策や、円高修正と海外景気の持ち直しに伴う輸出型産業の収益改善により、設備投資が大きく回復に向かいました。

海外では、米国は堅調な工作機械の需要が続き、欧州は一般機械、航空機などからの需要が回復基調を辿りました。しかし、アジアでは中国やアセアン市場が弱含みで推移しました。この結果、昨年の工作機械受注額は1兆1千億円強になったと見込まれます。

マクロ経済を見ると、欧米の政府債務問題やアジアを中心とした新興国経済の成長鈍化の懸念など、一部にはリスク要因があります。しかし、自動車や航空機の需要増加、資源開発やインフラ関連への投資拡大等にもとない、世界における工作機械の潜在需要は増加していくと見込まれます。

このような背景を踏まえ、本年は業界として昨年の受注額を大きく上回る水準を目指して参る所存です。

これに向けては、日本が世界をリードしている複合工作機械の高度化や知能化技術

の追求、また、難削材・新素材加工への対応など、得意とする技術分野で、一層の差別化を進めていかなければなりません。

一方、販売・サービス面では、ユーザーの生産性向上や技術革新のためのソリューション提案力の強化、また、日本が誇る迅速かつ丁寧なアフターサービスの提供を全世界に展開していく必要があります。

一昨年、当工業会で取りまとめた「工作機械産業ビジョン2020」では、我が国工作機械産業が中長期的な視点で対処すべき諸課題として、①産学官連携の強化、②標準化戦略の強化、③JIMTOFの求心力強化、④人材の確保・周知策の強化、等を掲げました。本年はこれらの課題に対し、当工業会関係者が一丸となって取り組んで参ります。特に、従来、業界全体として必ずしも十分には手がつけられなかった「産学官連携の強化」と「標準化戦略の強化」に注力していく所存です。

本年は2年に一度のJIMTOF 開催年にあたります。JIMTOFの第一回開催から50年を経て、新たな半世紀の第一歩となるJIMTOF・Tokyo 2014が10月30日から6日間の日程で開催されます。業界各社の最新技術を世界のユーザーに発信するとともに、広く一般の方々にも「ものづくり」のすばらしさを感じていただける展示となるよう、「JIMTOFの求心力強化」への諸準備を進めて参ります。

日本の工作機械業界として、世界のものづくり産業の繁栄に貢献すべく、これら諸活動に鋭意取り組んで参りたいと存じます。

関係各位には、ご指導、ご鞭撻と一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年が皆様にとって、さらなる飛躍の年になることを祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.136

インテリジェント複合加工機 「MULTUS U3000、U4000」



オークマ(株)
技術本部 技術企画室 室長

柴田 英孝

1. 開発の背景

当社は、MULTUS Bシリーズを開発・販売し、世界初の衝突防止機能「アンチクラッシュシステム」と、長時間の連続加工でも安定した寸法精度での加工を実現する「サーモフレンドリーコンセプト」により、それまでの「複合加工機は複雑で使いにくい、加工精度が安定しない」というイ

メージを払拭したが、その一方で、ミーリング加工主体で複合加工機を使用するユーザからは、マシニングセンタ並みの加工能力、加工精度、加工領域が欲しいという声が高まってきた。そこで、それらの要求に応える複合加工機の進化形「MULTUS U3000、U4000」を開発した(写真1)。



写真1 MULTUS U4000

2. 「MULTUS U3000、U4000」の特徴

(1) 5軸加工機としての機械性能を最大限引き出す機械構成

ミーリング加工が多い複雑形状部品にも対応するため、直交3軸構成を採用し、Y軸ストローク(最大300mm)、X軸マイナスストローク(-125mm)の広い加工範囲を実現した。

(2) マシニングセンタ並みの加工能力・加工精度

難削材の高効率加工にも配慮した高出力・高トルクのミーリング主軸を採用することにより、5軸マシニングセンタ並みの加工能力を実現している(写真2)。加工精度については「サーモフレンドリーコンセプト」の採用により、一般工場環境を想定した室温8℃変化時の経時熱変位10μm以下を実現(実績例)。また、ワーク端面にPCD250の穴加工をC軸回転無しで加工可能なX・Y軸動作範囲を持つことにより、幾何精度が要求されるワークでもマシニングセンタ並みの精度を実現可能である。

(3) 豊富な仕様展開

加工時間を短縮し高い生産性を引き出す「下刃物台仕様」をラインナップ(写真3)。2サドル旋盤と同等の高剛性なV12複合刃物台とすることにより、上下刃物台による内外径同時旋削加工等による加工時間の大幅短縮を可能とした。

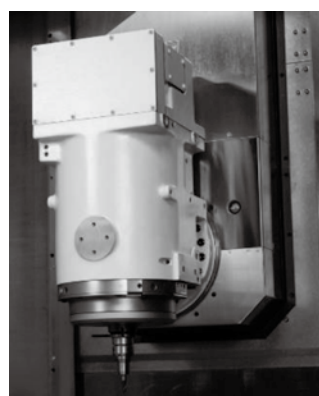


写真2 ミーリング主軸

■フライス加工例
602cm²/min (S45C)
φ50フライスカッタ 5枚刃
切削速度：300m/min
切込：6×35mm
送り：2,865mm/min

(4) 使い易さ

①オペレータフレンドリー設計

オペレータの立ち位置から主軸中心までの距離を短くすることで、ワーク着脱の容易化に配慮。また、メンテナンスエリアも機械前面に集約する等、日常の作業を快適に効率よく行える機械レイアウトとしている。

②複合加工機用CNC装置「OSP-P300S」

初品加工に費やす時間を大きく短縮する、新次元の複合加工機用CNC装置「OSP-P300S」を搭載。工具準備から生爪加工、原点設定まで、加工準備に必要な一連の作業を簡単に行うことができる。

③アンチクラッシュシステム

手動操作・自動運転を問わず、あらゆる使用局面で衝突を防止する知能化技術「アンチクラッシュシステム」を標準装備。NC装置が実際の機械動作に先立ちリアルタイムにシミュレーションすることにより、干渉や衝突をチェックし、衝突前に機械動作を停止させるものである。

3. おわりに

今後も「機・電・情・知」の融合技術を基盤として、グローバル市場の拡大、消費者ニーズの多様化に対応する生産手段、ソリューションを提供していく所存である。

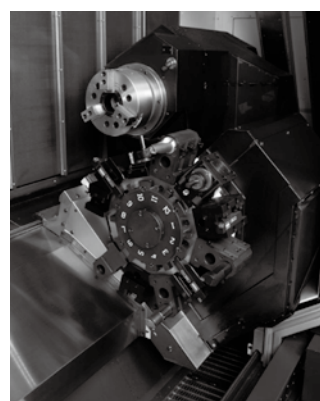


写真3 下刃物台仕様



リレー随筆



(株)山 善
機械事業部 中部営業部 部長
上大迫 顕基

この度(株)滝澤鉄工所・名古屋営業所所長の坪井様よりバトンを受けさせて頂く事になりました。坪井さんは名古屋から転勤した事が無いという、いわば名古屋の主みたいな方です。それに比べ、この私は1981年に山善の東京本社に入社以来、海外赴任こそ無いものの色々な地域を廻って来たものだとこの年になるとつくづく思います。

私は、転勤は自分の意志(希望)に関わらず、天の意志で決められていると思います(本当は会社のトップが、あれやこれやと思い悩みながら決めるのでしょうか)。色々な土地に行き、色々な人と出会い、そしてそこで色々な経験をするのです。それは大げさに言えばその人の人格形成や人生そのものに大きく関与してくる重大事件なのです。

ちなみに私は入社後通り一遍のトレーニングを経て、まずは東京の城北営業所に配属。その後、北関東の前橋支店、大阪本社、九州支社、東京本社、そして今の尾張(終わり)名古屋と、東北を除いてよくまあ転々としたものだと言えながら思わずにはいられません。

九州の片田舎で生まれ育った私にとって、初めての東京生活は日々楽しいもので、またそこで今の家内とも出会いました。新しい家族も出来、自分自身前途洋々たる気分浸ったものです。次の前橋は30歳になったという事も有り、東京のネオンから遠ざかり家族を連れてのアウトドアも随分楽しんだものです。新しい赴任地では、まず図書館に行かれる事をお勧めします。なぜならその地の歴史や言い伝え、はたまた伝説の類を知る事が出来るからです。利根川のカッパの話や前橋という名前の語源、数百年前にその地での群雄割拠していた豪族の話等、その地が一遍に大好きになるような物語が一杯つまっています。

関西でもその土地ならではの人情に触れる事もできました。関西人特有の人懐っこさ。だらかな町の駄菓子屋さんや薬局のおばちゃん等皆さん中々の商売人でした。デパートとは値切るところで有るという事を教えてもらったのも大阪でした。「よう考えてみ、上得意には外商のあんちゃんがネギー本車で届けて、おまけに値引きまでして伝票や。わし等わざわざ現金持って買いに行っただけで。値切らなアホやる。」さすがです!! それからは嬉々としてデパートに行っただけで値切る事にしました。でも東京生まれの家内と一緒にいくと家内にすごく嫌な顔をされます。東京には物を値切るという習慣が一般庶民には無いのでしょうか、これも文化の違いなのでしょう。

この辺の時代が私の社会人としての成長・発展期だったのかなと思います。社会の秩序で有るとか、近隣の方々との付き合い等も今にして思えばこの頃培ったものと言えます。子供の小学校のPTAの副会長や自治会役員もやらせて頂きました。

生まれ育った九州や東京本社に戻ってからも、その土地土地での温かい触れ合いは単なる思い出ではなく、私自信のみならず私の家族全員を運んでくれた“恩師”みたいのものと感じています。皆さんは転勤と言われたら、思わず「えっ!!」という驚きと戸惑いの言葉が出ると思います。自分さえしっかりしていれば、何処へ行っても仕事は同じです。戸惑う事はないのです。

もう少し温かくなると異動の季節がやって来ますが、“人生そのものが旅で有る”とどなたかが仰っていましたが、正にその通り。改めて出会った全ての方に感謝申し上げたいと思います。

長々と書き連ねてきましたが、この辺で転勤の話も終わりにしたいと思います。次号は、大阪時代からの大親友(失礼)の(株)ダイイチテクノスの松下常務様にリレーのバトンを渡したいと思います。「うっしょー!!」の雄叫びが聞こえてきそうな好漢です。松ちゃん、後を宜しく頼みます!!

『言える化「ガリガリ君」の赤城乳業が躍進する秘密』

遠藤功 著（潮出版社）



(株)ジーネット
東京機械 1 課 課長
森 重 博 正

著者の遠藤功氏はビジネススクールで教壇に立つ傍ら、戦略の策定のみならず実行の伴った提案など幅広く活躍されている経営コンサルタントであり、その経営の本質を見通す視点を常に「現場」に置いての著書に定評があり、「現場力を鍛える」「見える化」（東洋経済新報社）や「新幹線お掃除の天使たち」（あさ書房）など数多くのベストセラーを出している。

この本は題名の通り「ガリガリ君」で有名な赤城乳業の強さの秘密をなんでも自由闊達に意見を言えるような会社を目指し実践している『言える化』という企業体質にあるいう事をドキュメンタリー形式で紹介しています。

赤城乳業のメイン商品である「ガリガリ君」。誕生は今から30年前以上の1981年。2012年の年間売上本数は4億3千万本。日本人1人あたり年間4本は食べている計算で誰もが一度は食べた事があり子供から大人まで幅広い年齢層に浸透している国民的商品の代表格ではないでしょうか。

これだけ見てみると赤城乳業の経営はメイン商品が売れ続け一見順風満帆であるように思いますが50年を超える歴史では何度も成長踊り場や低迷期を経験しております。その苦しい時期も「斬新な新製品企画」「攻めの営業キャンペーン」などでひとつずつ乗り越え現在の強い企業体質を育ててきている。個性的かつ斬新な意見を社員が自由闊達に言えるような企業体質が背景にあったからこそ今の赤城乳業の好調があると感じました。

井上社長の信念である「社員が立場や役割を超え何でも自由闊達にものを言える事で組織の活性化や各人の能力を最大限に引き出せる」。「言える化の実践」は容易でなく努力なしでは「言えない化」に陥る事のほうが多いと思います。

競争力の源泉であり「言える化の実践」には上下の区別なく相手の意見に耳を傾ける「聞ける化」の土壤が大切である。赤城乳業の幹部は若い人、経験の少ない社員の言葉も遮る事はない。

「言える化」を機能させ社員が躍動できる為に以下2点が上げられています。

I「言える化」を実践する「場」の設定

…通常の機能別による縦割り組織の弊害（部分最適の弊害）を少なくし横の連携（委員会、プロジェクトなど部門横断的組織）の活用で広い視野で知恵やアイデアを生み出す。そのプロジェクトリーダーに若手を起用する。

II「言える化」を加速する「仕組み」の構築

- ① 失敗にめげない評価の仕組み
- ② 部下が上司を評価する仕組み
- ③ 「学習する組織」へ脱皮する仕組み
- ④ 帰属意識を高める仕組み

上記ように「言える化」する組織構築の為に「場の設定」「仕組みの構築」など従来の上意下達（トップダウン）だけでなく下意上達（ボトムアップ）への意識変革の重要性を感じました。私は今流行り（？）のバブル期入社組です。職場には幅広い年齢層がおり日々勤務している中で参考になる本でしたので紹介させていただきます。

工作機械と私



釜屋(株)
機械部 課長代理
保田 高広

17年前(1997年)の春に消費税が5%に引き上げとなり、ますます消費不況に拍車がかかり、対ドルでも円安傾向が収まらず、その直後には大手証券会社が経営破綻により廃業。

時はまさにバブル崩壊後の失われた10年の真っただ中であり、長引く構造不況に増え続ける失業率、翌年の夏には対ドルで147円まで円安となりました。明るい話題と言えば冬季長野オリンピックでの日本選手団の大活躍や、連日の熱投で甲子園を沸かせた横浜高校 松阪大輔。当時の総理大臣は橋本龍太郎から小渕恵三へと引き継がれていく、そんな1998年に私は入社しました。

文系の大学を卒業し、おおよそ世の中の経済というものに関心もないまま社会に飛び出し、工作機械という言葉を知らないばかりか、金属が削れるということさえ入社まで知らなかった私に、突然押しかけられたお客様たちはさぞ迷惑なことであったと思います。行く先々で厳しいお言葉や門前払いを受けたことも数えきれません。時には「何故こんな業界を選んだのだ」とか「早く辞めて違う仕事を探したほうがいい」など親身になって心から諭してくれる方までおられました。

そんな厳しい時期に入社し設備受注などほど遠い日々ではありましたが、毎日お客様と接していく中で、少しずつ業界の現状を知るにつれ、日本の製造業の持つ技術力の高さや品質、日々進歩していく工作機械や加工技術等に私は魅了されていきました。

構造不況と言われ続けてもう久しいですが、やはり今後も厳しい経済環境に変わりはなく、その中を乗り切っていかなければなりません。お客様の多くが海外に工場を持つようになり、日本の強みであった高精度な加工も海外との価格競争に巻き込まれています。

入社当時工作機械の営業は一人前になるのに10年かかると言われていました。私も昨年営業歴15年を経過しましたので、「私はもう一人前の営業マンです」と言いたいところではありますが、今も日々勉強を重ねる身であります。

何年経ったから一人前と言うような時代を超え、この先、何年経ってもお客様と共に世界と戦える営業マンでありたいとそう思います。

奇しくも春には消費税が8%に引き上げられます。私の営業歴は消費税5%と共にあったわけですが、8%、来る10%と消費税の増加分に負けぬよう、営業マンとしての付加価値の向上を目指し、日々「ただ今日為すべきことを熱心になせ」というお釈迦様の言葉を胸に営業活動に、自己研鑽に励んでいこうと思います。

それが駆け出しの頃から今までお付き合いをいただいている、多くのお客様への私の使命であり、感謝をお返りする最良の方法と考えています。

ひとくち 豆知識

切削工具材種と材質

切削工具材種	ヒッカース硬さ (HV)参考値 ダイヤモンド四角錐を 試験片に一定加重 で押し付け測定	工 具 材 質
高速度工具鋼 (通称:ハイス) High Speed Tool Steels	~1200	鋼にクロム、タングステン、モリブデン、バナジウム等、多量の合金元素の添加により、切削熱で温度が600度位までは刃先の硬度が維持される材料。
超硬合金	~3000	炭化タングステン粉末に炭化チタンや炭化タンタルを添加し、結合剤であるコバルトを混合し、粉末冶金法により、硬度や耐摩耗性に優れた材料、800~1000度程度まで硬さを保つ。 粉末冶金法とは、成分を調整した金属粉末を成形金型に充填し、プレスで圧縮成形し、成形体を焼結炉で加熱・焼結する加工方法。 (金属は粉末冶金、セラミックスは焼結と呼ばれる)
* コーテッド超硬合金 (コーティング工具)		超硬合金あるいはセラミックを母材として、表面に炭化チタン、窒化チタン、酸化アルミニウムなどを物理蒸着法または化学蒸着法により、数ミクロンの厚さで1層、または多層の被覆(コーティング)をした超硬材料。 物理蒸着法(PVD法)とは、蒸発させる金属(蒸発源)を加熱して気化させ、気化した金属は、処理物表面に吸着され、冷却すると表面で固化。 化学蒸着法(CVD法)とは、素材となる反応物質を気化させ、反応ガスと混合し反応室内に充填し、熱された処理物にガスが接触すると、その熱平衡反応によって処理物表面に皮膜が形成。
サーメット サーメット(cermet)とは セラミックス(ceramics)と 金属(metal)の合成語	~3000	炭化チタン(=チタンカーバイド)や炭窒化チタンなどのチタン化合物(粉末)を主にニッケルやコバルトなどで結合し、焼結した材料。 (サーメットは超硬合金とセラミックスの中間の性質)
セラミックス	~4000	酸化アルミニウム、炭化チタン、窒化珪素等を焼結した材料。
CBN焼結体	~5000	ホウ素、窒素、からできている人工的に作られたダイヤモンド結晶構造材料。ダイヤモンドに次ぐ硬さを持つ材料。 (CBNは立方晶窒化ホウ素(Cubic boron nitride)の頭文字の略)
ダイヤモンド焼結体	~12000	ダイヤモンドの微粒を金属、コバルトなどの金属触媒を使用し、高温高圧の条件下で超硬と一体焼結した材料。
<p>○工具材種とは別に、工具材料の表面改質(コーティング技術)がある。</p> <p>1. 上記、* コーテッド超硬合金にも示したように、物理蒸着法または化学蒸着法により、工具に表面硬度と内部靱性などの特徴を持たせることができる。</p> <p>2. 主な種類として、コーテッド超硬合金、コーテッドハイス、コーテッドサーメット、コーテッドCBNなどがあり、コーティングの皮膜も、方法として物理蒸着法、化学蒸着法、焼結などがあるが、新しい技術も開発されており、皮膜の材質についても多様になっている。</p>		

私の軌跡



三洋マシン(株)
商事部課長
青木 伸 浩

今回、調査広報委員会から、過去の「工作機械と私」の執筆者を対象に、その後の軌跡（経験談等）を紹介する企画という事で、この度執筆を依頼されました。時が経つのは速いもので、「工作機械と私」を執筆してから既に10年以上が経ってしまいました。今回はその後を振り返り環境変化等色々な事を書かせて頂きます。

思い起こせば、この何年かで、世界的にも色々な出来事がありました。サブプライムローン問題に始まり、リーマンショック問題、最近ですと東日本大震災は記憶に新しいところです。そのような出来事の影響により工作機械業界もその都度振り回され、打撃を受けてきました。一番の大きな打撃はリーマンショックであり、この出来事に襲われた事により、その後どん底の景気を経験致しました。その後、徐々に景気は回復し、現在に至りますが、その頃から大きく変わったのが仕事環境です。リーマンショック後は、グローバル化が一段と加速し、進み、設備投資案件等の海外比率も急激に上昇しました。現在での設備案件では、当社比率で、海外が約7割、国内が約3割になっています。

又海外工場の方もシフト傾向にあり、以前は中国を筆頭に東南アジア等が多かったのですが、そうした国々が抱える問題等々により投資が徐々に少なくなっています。当社の海外案件で言うと最近では、メキシコ、ポーランド等が多くなっています。国により異なる風習、文化、習慣の違いはあり様々な問題に直面しますが、時間を掛けて仕事を進めています。

そのような事から、こらからの仕事環境も変わりつつある時代と共に新しい営業スタイルを確立する事が、如何に大事であるかと思わされます。客先の設備要求レベルが以前と比べると高くなり、客先のその先の客先の事まで考えて物を動かす様な事が普通になるかもしれません。

時代の流れはかなりのスピードで速くなって来ていますし、客先のレベルも上がっていますので、商社としては、腕の見せ所でもあり、普段から客先の先を見越した提案が出来るかが重要なポイントになり、おそらくそれらが出来ることが、これからの営業スタイルの基本になると思います。

今後更なる業界の多様化が進み、変貌する時代にと共に変化する営業環境に対応出来る様に、技術的、人間的魅力を向上させるべく自分に磨きをかけ、客先に商品、感動を売るために変化して行く営業環境に対応出来る様精進を重ねていきたいと思っています。最後に一つ、日本をかつてのモノづくり大国であった状況に戻すところまでは行きませんが、安倍政権によるアベノミクス効果に期待し2020年オリンピックにより経済効果に肖りたいですね。

工作機械と私

工作機械販売に携わって



三洋マシン(株)
商事部主任

青木 伸浩

(SE No.01-10-1303)

平成11年3月、縁あって、この工作機械業界へと飛び込んできました。それまでは建設機械の資材関係の仕事をしており、この業界ではド素人での一からスタートでした。

振り返って見ると入社して早4年目を迎えようとしています。

私の苦勞話は、去年11月に専用機を受注した時のことです。当時の私の考えでは、日程・品質・タクトともにスムーズに事が運んでおり、あとは検収が上がるだけと思っていました。受注活動も、やっと4社競合の中から当社に決まり、その後メーカーに発注し、立会い前日までは何事も無く事が運んでいました。ところが立会いの当日に問題が発生したのです。機械がステーションごとしか動かず、チョコ停の連続、しかも全体の動きが確認できないような状況で、客先担当者の顔がまともに見られませんでした。この時でした。頭の中で、確認・連絡の言葉を思い出し、今まで全く全然怠っていたことを改めて痛感しました。

このように色々となりましたが、専用機の方も何とか納めることができ、お客様にも納得してもらいました。話せばまだまだありますが、今は無事終了し本当にホッとしています。

上で述べた様に、営業とは、先ず自分が相手の立場になって、相手が何を望んで、どうしたいのかと、常に売る側の自分が買う側になって考えて行動すれば、顧客を大事にすることになり、この考えを基に工作機械を売っていけば、機械のメリット・デメリット及び価格をしっかりと把握できるのではないのでしょうか。その中で、お客様のニーズに合った機械の見極めと、それをどの様に提案し提供できるかが自分に与えられた役割であり、また自分をアピールする場だと実感しております。最近では、工作機械に携わることで、自分の自己形成に非常に役立っていると感じています。

最後に、現在インターネットなど情報通信の目覚ましい発展により情報伝達の高速度が図られていますが、やはり売り手も人間なら買い手も人間、人と人との信頼を深めていくには、まめに足を運んで話を聞き、またあらゆる仕事を通じて多くの人々にお会いし、話をしていくことこそ営業の素晴らしさであると考えています。市況は非常に厳しく大変ですが、その中で受注できた物件に対しては、代えがたい喜びを感じると同時に、自分にも“よし頑張ろう”と言う信念が湧いてきて、それが自然に客先へと足を向かせる勇気につながるのではないのでしょうか。このような気持ちで今後とも更なる向上を目指し、日々工作機械の販売に邁進して自己を磨く最良の職場である環境を築き上げていきたいと思っています。

議事録から

第247回 定例理事会

日 時：平成25年11月14日(木)
13:00～15:00

場 所：名古屋・安保ホール 101号室

出席者：会長、副会長3名、専務理事
理事22名、監事2名、事務局1名

会長挨拶：

10月の受注速報が日工会より発表されました。上半期決算の反動でどうなるかと心配しましたが、9月に続いて受注が1千億円を超えました。

若干内需が減ったのですが外需が伸びたということで1千億円超えとなり、EMO Showの時に花木会長が下方修正をして1兆1千億円と発表されましたが、あと2ヶ月ですが間違いなく到達すると思います。それでは本日は、付議事項はありませんので報告事項から始めます。

【報告事項】

(1)平成25年度上期収支報告：

宇佐美専務理事より報告。11月7日に公認会計士により一般会計、教育事業会計、銀行残高、現金残高の監査が行なわれたが、特に指摘される問題点はなかった。

一般会計についての補足説明事項は収入面では正会員1社入会により入会金と会費がプラス。支出面では特に大きな変化ない。教育事業特別会計においては収入面で各事業にて目標と

した受講生数より下回ったため収入減となり若干の赤字が予想される。

(2)流通動態調査平成25年9月結果、日工会・工作機械短観調査：

日工会発表は久しぶりに1千億円を超え内需は27ヶ月振りに400億円を超えたが、日工販動態調査も9月の工作機械受注は281億円と高い数字であり、小計344億円、合計500億円と好調。今年度4～9上期は1,308億円で昨年度上期は1,418億円と100億円強下回ったが徐々に良くなってきている。

日工販流通動態調査2の10月時点見通しについては、7月に比べて10%上昇と見通しされている部分が市場別、製品別地域、海外、ユーザー規模のどの項目も散見され良くなっている。一方日工会短観では9月に比べてどの判断も悪くなっており特に海外については悪くなっている。

(3)委員会報告：

①政策委員会

上田会長より報告。11月7日に(一社)日本工作機器工業会役員との懇親会を開催。先方は寺町会長他フルメンバーが出席。今回は昨年に続いて一年振り第二回目の懇親会だったが盛況のなか意見交換が行われ懇親を深める事が出来た。

高田中部地区委員長よりメカトロテックジャパンについて報告。10月24日より4日間開催し来場者は目標の8万人を超え93,741人と大盛況であった。結果的には商談内容もますますと聞いており、JIMTOFほど大きくはないので出品メーカーとしては営業がしやすかったと聞いている。次回の課題は駐車場の問題と渋滞の解消。

②教育委員会

池浦委員長より報告。「提案営業力&技術提案力向上研修会」は9月26日、27日に前半を、10月31日、11月1日に後半が実施された。初日9月26日開会の挨拶を行った。講師陣に恵まれ大変充実した研修会になったと思う。前期37名、後期41名の参加であったが特に後期のメキシコの講義は良かったと聞く。尚、前半・後半の開催がいずれも月末であったため多忙な中堅社員が多いので次回は開催時期を月半ば等開催時期に対して考慮する。SE講座は10月10日から12日まで東京会場、10月17日から19日まで名古屋会場、10月24日から26日まで大阪会場にて実施。更新研修は11月8日から9日まで東京会場にて実施。中身の濃い研修になったと思う。

③国際委員会

EMOでのInternational Meetingについて専務理事より報告。EMO期間中9月18日に会場内Congress Centerにて開催された。参加国15、参加者約70名で参加人数が多かったのは前回同様インド、台湾、トルコの順。日米欧の工作機械販売協会の発表と工業会のプレゼンとなっているが、米国は昨年

シカゴショーの直前に米国工作機械販売協会が全米製造技術工業会に吸収されたので今回の発表者に注目したがどうも工作機械関係者ではないようで発表の内容は米国一般経済状況の報告に終始した。日・欧の工作機械市場状況の報告に続いてインド工作機械工業会による力強いプレゼンがあった。

ここ3年ほどのInternational Meetingの特徴は中国のプレゼンがなくなったということでありしかも出席者も居ないことが印象的であった。

④中部地区委員会

高田委員長より報告。9月28日岐阜県のレイクグリーンにて懇親ゴルフを開催。天気にも恵まれ楽しい会となった。10月8日に製品研修会を開催19社64名が参加した。メーカーは賛助会員6社。内容としてはほぼ満足すべきものであった。

⑤西部地区委員会

赤澤委員長より報告。10月23日にエル大阪にて若手・中堅研修会を開催、約70名の参加。講師は昨年に引き続き宇佐美専務理事。工作機械業界の歴史、EMO報告、一般常識問題など多岐にわたっての講義であった。11月12日に大阪産業創造館にて製品研修会を開催。メーカーは賛助会員の5社。66名の参加を得て充実した製品研修会となった。

第116回 調査広報委員会

日 時：平成25年11月21日(月)
12:30～14:00

場 所：機械工具会館3階第二会議室

出席者：委員長、副委員長(代理)、委員5名、
事務局2名

田尻委員長より挨拶があり議事進行となった。

議 事：

(1) 今年度上期収支実績と今期収支予想について

宇佐美専務理事より調査広報・HPの上期実績報告と、期初予算に対し概ね予算通りに進捗している旨の報告があった。

(2) 日工販ニュース編集について

編集について従来より事務局が担ってきた

が、より完璧な記事作成のために、調査広報委員も極力編集に参画することになった。今年度1月・2月号の寄稿原稿は早々メールにより校正することになった。

1. 1月、2月発行分手配について
寄稿原稿の手配を取り決めた。

2. 来年度発行分について

次回調査広報委員会で寄稿依頼先選定方法を検討する事になった。

「広告」のお願いは次年度予算確定前に依頼する必要があると2月に出すことし、「話題の技術」については依頼先企業の掲載希望時期があることを考慮する。

(3) 調査広報委員会開催日について

日工販ニュース発行時期に合わせてできるだけ開催し、委員会にて編集についての意見交換、寄稿原稿の校正を行なう。

西部地区中堅・若手研修会

日 時：平成25年10月23日(水)
14:00～16:30

場 所：エルおおさか 5階研修室

参加者：正会員14社39名、
メーカー賛助会員14社21名、
リース賛助会員5社6名
総計33社66名

講 師：日工販専務理事 宇佐美 浩

会員の中堅・若手社員を対象とした研修会が開催されました。講義内容は、工作機械業界の変遷そして現状と今後の展望、営業力向上のヒント、EMO2013及び国際会議の報告、会社員の一般常識、また業界のより理解と日常仕事に役立つ知識についての講義がありました。

東部地区講演会・忘年懇親会

日 時：平成25年12月6日(金)
15:00～18:15

会 場：八重洲富士屋ホテル

1/4あり、但し遺留分は無く注意!) 等言われるが、遺言は相続トラブルの予防注射。

講演会

会 場：2階「櫻の間」 15:00～16:40

演 題：「日本一楽しい! 遺言書教室」
～ SOS! 相続トラブルをぶっ飛ばせ! ～

講 師：佐山 和弘 氏

遺言コンサルタント、
相続・遺言専門行政書士

出席者：正会員32名、メーカー賛助会員28名、
リース賛助会員4名、招待他6名
総計70名

藤井副委員長(三井物産マシンテック(株) 理事)
司会のもと紹介があり、下記の題材に基づいて講演がありました。

講演内容要旨

1. 遺言書を書かない人の残念な言いワケ

- ・「とにかくもめることはない」、「縁起でもない」、
「子供がいないから」(兄弟姉妹が法廷相続分

2. 明石家さんとのナイショ話

- ・財産は使ってしまう(冗談?) ので遺言はしない。
遺言書=財産を残す事だけでなく、今までの感謝の気持ちなどを遺言書で書いておくことも重要。感謝の気持ちなど生きているうちは絶対に口では言えないもの。

3. モメる遺言書モメない遺言書

- ・モメる遺言書の共通な書き方は名前がすぐに書かれハートがない遺言書。法的効力はないが付言(例えば、子供の時のとりとめのない日常をハートを込めて(遺言書に命を吹き込む等)書く)ことが私の経験上必要(弁護士等はあまり言わないが)。ハートを込めれば血の通った送り物にもなる。
- ・遺留分(不公平な遺言書を書かれた時も最低限もらえる部分)も重要な部分。

4. 公証人ってどんな人

- ・公権力を根拠に証明・認証する人。公証人は遺



講演風景

言一言一句述べ確認し、原本は公証人役場に保管(120歳まで)される。

- ・遺言書は公正証書と自筆があり、法的効力は同じ。自筆のデメリットは家族がすぐ開けなく、家庭裁判所に必要書類(全員の戸籍、住民票が必要)を出さなければならなく全員が集合して確認するため、1~2カ月かかる(家族はあとが面倒、本人は作成し易い)。
- ・公正証書は即見られ(家族はあとが楽、本人は面倒)、公正証書がおすすぬ。

5. シェークスピアが教えてくれたこと

- ・「リア王」の贈与は悲劇となる。贈与した後は戻せない。贈与後に態度が変貌する可能性もあり、良い意味で子供を信用しすぎないように。

忘年懇親会

会場：2階「櫻の間」 17:00~18:15

出席者：正会員32名、メーカー賛助会員35名、
リース賛助会員13名、招待他6名
総計86名

講演会に引き続き、藤井副委員長の司会のもと忘年懇親会となりました。角田委員長(丸紅マシ

ンツールズ(株) 副社長執行役員)より東部地区の本年度行事報告とお礼、また来年の行事予定報告があり、東部地区行事への沢山のご参加をお願いしたい旨挨拶がありました。

また新しく入会されました(株)東京精機工作所取締役営業総括部長高橋徹氏、また(株)初田製作所 理事 大西正男氏よりご挨拶をいただきました。

乾杯に移り、上田会長(三菱商事テクノス(株)社長)より協会活動へのご理解とご支援のお礼と、日工販というプラットフォームを通してお客様、メーカー様、商社が三位一体となって総合力を発揮し日本のものづくりに貢献していきたいと力強い乾杯のご発声で賑々しく開催されました。

盛会のうちに野上副委員長(株)ナチ常盤 会長)の中締めの挨拶があり散会となりました。



上田会長



野上副委員長



角田委員長



懇親会風景

中部地区講演会・忘年懇親会

日 時：平成25年12月5日(木)

16:00～19:00

会 場：メルパルク名古屋

講演会

会 場：「瑞雲(西)の間」 16:00～17:15

参加者：124名

講 師：平野幸久氏

一般社団法人 中部産業連盟 会長

演 題：『チャレンジを楽しむ／空港の建設と
運営を通じて学んだこと』

講演会は後藤委員(三栄商事(株) 社長)の司会により、高田委員長(株井高 社長)から挨拶、そして司会者から講師 平野 幸久氏の経歴紹介があり開始されました。講演要旨は下記に記します。

講演終了の後、加藤副委員長(三立興産(株) 社長)から、来年も自動車は好調!、講演からはユーザー目線のお話を伺い、考えを新たにしたい事、利用者に優しい中部国際空港の感想などを以って謝辞があり締めくくられました。

講演内容要旨

演題：「チャレンジを楽しむ」～空港の建設と運営を通じて学んだこと～

1. 中部国際空港の建設と運営

◇プロジェクトの経緯 構想～調査～事業化へ～建設

◇中部国際空港の目指す方向

◇環境への配慮

・構想段階(空港島の位置・形状)

・建設段階(埋立土量の縮減・海上輸送や集約輸送の活用)

・運営段階(騒音・環境モニタリング～環境負荷低減)

◇空港建設(世界トップレベルの空港を早く、安く)

◇工事スケジュールの見直し(工期短縮)

◇事業費削減の結果(総事業費 1730 億円の削減)

◇開港後の状況(旅客数・収支の推移)

◇就航率

◇セントレア(中部国際空港の愛称)が受賞した各賞



加藤副委員長



講演風景

- ・「国際空港評議会」顧客サービス：旅客数規模別第1位
- ・更に世界の227空港中14空港の一つ、「エクセレントエアポート」に選定／日本で唯一!
- ・SKYTRA社より、Air Cargo World誌より、他

2. セントレアの課題

- ◇頻発する天災・事件
- ◇空港の変化(国内各空港)⇒名古屋は!?
- ◇航空業界のトレンド
 - ・機材の小型化
 - ・格安航空会社(LCC)～就航
 - ・成長するアジア
- ◇航空需要の伸びの予測

3. 人材育成

- ◇仕事の取り組み方
- ◇民間企業とは ⇒ 「訓練」・「使命感」・「協力」して取り組む
- ◇自動車生産方式 ⇒ 手作り・大量・リーン生産
 - ※【国際自動車プログラム】がトヨタ生産方式をリーン生産と銘々
 - Lean=無駄の無い意味
- ◇トヨタとGMの生産台数(推移)
 - ・GM=生産量増～生産性→コスト削減
 - ・トヨタ=ムダ排除に依るコスト削減(元々、多種少量生産)
- ◇トヨタ生産方式(徹底したムダの排除 ⇒ ジャスト・インタイム/自動化)
- ◇大量生産方式
 - ・大量生産方式で働く人⇒極限まで作業の細分化～人の互換性→間接部門の増加
 - ・リーン生産方式で働く人⇒作業の統合～改善→やりがい→QCサークル活動
- ◇空港へのトヨタ生産方式の導入事例
 - ・QC活動、カンバンの導入、ゼロディフェクト活動、他

- ◇改善活動は継続してこそ価値がある
 - ・改善のヒントは色々なところにある
 - ・QCサークル活動の継続は自分と職場の成長につながる

4. 企業風土の醸成

- ◇さまざまなパートナー
- ◇仕事についての考え方
 - ・楽しく～成長を実感～社会貢献～付加価値～お客様の視点で
- ◇「ヒト」の大切さ
 - ・人づくり(能力・使命感)、コミュニケーション、現地・現物主義

忘年懇親会

会 場：「平安の間」 17:30～19:00

参加者：121名

山本社長(釜屋株)の司会により開会。

◆開会挨拶

高田委員長(株井高社長)より日頃の活動への御礼、2013年度開催済み行事の報告がありました。

今年は事件、自然災害

が世界中で頻発し、経済面ではアベノミクス、又、オリンピックの招致決定などのニュースが駆け巡りました。設備投資はますます、メカトロニクスの集客は過去最高レベルを記録。2014年の景況は大丈夫!との力強い挨拶がありました。



高田委員長

◆会長挨拶

上田会長(三菱商事テクノス株)社長)から、機能分担しながらモノ作りのバリューチェーンを作っ

て行きたい。そのためには我々商社のネットワークが重要。皆様からのご支援を頂きながら今後ともよろしくお願ひしたい旨のご挨拶がありました。



上田会長

◆乾杯

本年4月に就任された末岡社長（㈱アマダマシンツール）から、低迷していた受注も6月からようやく回復。委員長からの2014年は大丈夫との話しも頂けたとした上



末岡社長

で、力強いご発声により乾杯が行われました。

◆中締め

池浦副会長（㈱不二社長）より、今年は、第二回目の提案営業力向上研修会を開催し好評のうちに終了。



池浦副会長

SE資格者はH25/7現在2815名、累計で6783名の皆さんが受講されました。

2014年は更に多くの方々のご受講をお願いしたいとのお願いの後、三本締めで今年の忘年懇親会は盛会のうちにお開きとなりました。



懇親風景

西部地区講演会・忘年懇親会

講演会

日 時：平成25年12月4日（水）

15:00～16:45

会 場：大阪弥生会館「三笠の間」

演 題：「お客様から叱られ続けたリードタイム短縮の四十余年」

講 師：阿部 忠之 氏 三井精機工業(株) 相談役

出席者：正会員44名、メーカー賛助会員27名、
リース賛助会員6名、招待他6名
総計83名



講演風景

岩切副委員長（京華産業(株) 常務取締役）より本日の講師である講師 阿部忠之氏の紹介があり講演がスタートしました。

講演要旨

現役時代を大きく分けてトヨタ自動車工業(株)時代、(株)ジェイテック時代そして三井精機工業(株)時代と三つの時代に分けて演題のリードタイム短縮努力に纏わるお話を頂いた。

特にトヨタでは金型作りに携わった30年は、ここで経験したこと阿部講師の技術の原点という事で、加工設備など大変興味深いお話を頂いた。

忘年懇親会

会 場：「六甲の間」17：00～18：45

出席者：正会員 36名、メーカー賛助会員 24名、

リース賛助会員 13名、招待他 8名

総計 81名

講演会に引き続き、岩切副委員長の司会のもとで忘年懇親会となりました。

赤澤委員長（赤澤機械(株) 社長）より平成25年度の活動報告と日頃の協力への御礼があり、来年の一層の飛躍を祈念し



赤澤委員長

て開会の挨拶がありました。

続いて上田会長より挨拶を頂きました。

大阪機工(株) 取締役社長 井関博文氏よりご挨拶と乾杯のご発声を賜り賑々しく開催されました。工作機械業界にとって回復の兆しが見えた一年でしたが、来年に向け更なる期待をかけ前向きな情報交換が行われる中、定刻となり宮協委員（日工販副会長 宮協機械プラント(株) 社長）の中締めにより盛会のもとに散会となりました。



上田会長



井関社長



宮協副会長

中部地区工場見学会

日 時：平成25年11月27日(木)

10:10~16:00

●見 学 先

① 西 島(株)

TEL 0532-88-5511

〒441-1102

愛知県豊橋市石巻西川町大原 12

【スケジュール】

高田委員長 挨拶～西島本部長挨拶～工場見学・昼食～展示場見学～特色説明～質疑応答

② オーエスジー(株)／CSセンター

TEL 0533-82-1107

〒442-0005

愛知県豊川市本野ケ原 3-22

【スケジュール】

山下会長挨拶～国内外会社概要説明～切削LIVE～ツールプリセット LIVE～質疑応答

③ オーエスジー(株)／八名工場

TEL 0536-26-1413

〒441-1335

愛知県新城市富岡字赤岩 50-5

【スケジュール】

工場概要説明～工場見学～質疑応答

参加形態：豊橋駅西口集合・解散／貸し切り大型バスで移動

参加者数：正会員35名

【西島株式会社】

★高田委員長(株井高 社長)より西島(株)殿への受入れ御礼と挨拶

★取締役 西島 豊 氏より、

- ・ 組み立て工場(スピンドル組み立て含む)を見学の後、ロビー展示コーナーで創立時製品の発動機(レプリカ)、近年の取り組みであるメディカル分野(人工関節)、風力発電への取り組みなど、見学と歴史を含めご説明を頂きました。



西島(株)創業者開発発動機レプリカ説明

- ・ 食堂に移動し、同社オリジナルの”名物カレーライス”をご馳走になり家族的社風を体感させて頂きました。その際、西島社長からカレーを三杯お代わりした方にオリジナルワインを進呈!のサプライズもあり、奮起した4名の方に進呈がありました。
- ・ ホールに移動し、TV番組「報道ステーション」で放映された「定年のない会社」を拝見した後、「西島」の社風をご説明頂きました。同社は50年表彰を創設し、



西島(株)名物カレーライス



カレー3杯お代わりした方へのワインプレゼント

表彰者は「50年以上クラブ」があり入会され、又、60年表彰者も現在2名の方が在社。

- ・手がける機械の対象とするサイズは指先サイズから6mと幅広く、トンネル枠の加工機、更に菊の梱包機など多彩に手がけられています。



西島(株)食堂にて

★営業 神山部長、白柳課長より

- ・営業姿勢について、如何なる機械・装置にも誠意を持って選別することなく取り組む姿勢をアピールされ、見学を終了しました。



【オーエスジー株式会社／CSセンター】

★山下日工販理事(山下機械(株)会長)から、

- ・見学申込みの過渡期の中、受け入れて頂いた事への御礼を含めて挨拶がありました。

★オーエスジー／中部営業部長 久留 俊弘氏からご挨拶

★CSセンター／徳永課長より、

- ・会社概要、歴史などの説明、並びに最新工具に依る切削実演、カメラ式非接触ブリセッターのライブを画面で拝見しました。

尚、75thを記念して刊行された単行本「出稼ぎ地球会社」を全員にプレゼントされました。

【オーエスジー株式会社／八名工場】

世界一のタップ工場

★八名工場の概要説明

1990～タップ専門工場として稼動

従業員480名

生産数130万本/月(半数が輸出)

自社内製設備を865台配備

平均6台持ち/1オペレーター

※国内シェア65%

※海外工場での生産数239万本/月

- ・ 世界一!レベルのタップ専門工場の全工程を隔々まで見学。ほぼ全ての加工機が自社内製であることから、タップ生産に特化して作りこまれたマシンを大変興味深く見学致しました。
- ・ 短納期対応の為、半加工品在庫も大量に及び、多種少量生産への対応と苦勞が感じられます。作業環境整備の一環としてエアコンが大掛かりなダクトを含めて整備されているものの、オイルミストに関してはまだ整備途上と感じられる面もあり、皆さんが関心を示した点でもありました。

今回は機械・装置メーカーと工具メーカーの見学といった組合せとなりましたが、いずれも独創的な装置、加工機の多くを見学出来る機会となり、日々顧客の多様なニーズに対応して



オーエスジー(株)世界最初の自動ねじ研削盤

いる参加の皆様にとって、大いに参考になったものと感じられます。

最後に今回、製品及び社風を異にする2社を訪問出来る有意義な見学会を受け入れて頂きました両社、またご参加いただきました会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。



オーエスジー(株)会社概要、歴史等説明

西部地区製品研修会

日 時：平成 25 年 11 月 12 日 (火)

10:00～16:00

場 所：大阪産業創造館 6 階会議室

参加者：正会員 18 社 65 名、

リース賛助会員 1 社 1 名、

総計 19 社 66 名

赤澤委員長より挨拶があり、EMO・メカトロテックジャパンの出展機を中心ということでメーカー 5 社の協力を得て開催されました。

各社より新製品、新技術の紹介・説明をいただき、参加者も真剣に聴講しているのが印象的でした。ご説明をいただきましたメーカー各位には心よりお礼申し上げます。

研修スケジュールは下記の通りです。

No.	時間	会社名	説明機種	説明者(敬称略)
	10:00	開講挨拶		
1	10:10～ 11:00	(株)滝澤鉄工所	TS4000YS(複合旋盤)	営業推進主任参事役 大島 修平
2	11:10～ 12:00	大阪機工(株)	HMC (横型マシニングセンタ) VC (5 軸制御立型マシニングセンタ)	技術本部技術開発部 アシスタントマネージャー 小野寺 浩二
	12:00～ 13:00	昼食		
3	13:00～ 13:50	(株)牧野フライス製作所	横型マシニングセンタ a51nx, a61nx	西日本セールス 1 課 課長 藤原 邦祥
4	14:00～ 14:50	ヤマザキマザック(株)	INTEGREX i-100 BARTACS VARIAXIS i-700T	大坂テクニカルセンター所長 米村 淳一
5	15:00～ 15:50	オークマ(株)	MU-6300V 5 軸加工機 新複合加工機 (新機種) 知能化技術	大口営業技術一課 森下 敬史
	15:50～	閉講		

東部地区工場見学会

昨年 3 月 8 日に平成 24 年度最後の事業活動として西島(株)を訪問しましたが、定年のない会社として多くの 70 歳代の方々が生き生きとして働いている姿を見て再度訪問したいとの声が多く、昨年 11 月 20 日(水)に工場見学会を実施しました。当日は 26 名の参加者がありましたが訪問先は西島(株)に加えて次の通りです。

1. 西島(株)
2. オーエスジー(株) CS センター
3. オーエスジー(株) 八名工場

豊橋駅を午前 10 時 10 分にバスで出発し今年二度目の西島(株)訪問となりました。今回は昼食時間に同社の名物料理カレーライスをご馳走になりました。野菜類は全て工場裏の畑で栽培し同社従業員の 70 歳代のご婦人の

手作りでしたが、まさに家庭の味でほぼ全員がおかわりをしました。工場内は出荷待ちの工作機械が多く見られその多くの向け先自動車関連とのことで活況を呈していました。次の訪問先は予めから見学したかったオーエスジー(株)で同社のご厚意により本社CSセンターそして八名工場を見学させていただきました。

非常に洗練されたプレゼンテーションがあり同社の製品について理解を深めることが出来ました。工場見学が終わり希望者参加の懇親会が浜松駅近くの居酒屋で行われ20名の参加者があり、偶然にも10名の50～60歳代のグループと20歳前後のグループという構成となり懇親会は大変盛り上がりました。

中部地区製品研修会

日 時：平成25年10月8日(火)

9:20～16:00

会 場：名古屋市工業研究所

管理棟 第一会議室

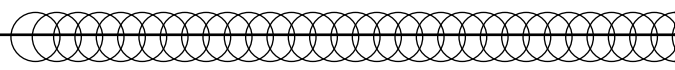
参加者：正会員19社64名

高田委員長より挨拶があり、テーマはメカトロテックジャパン2013開催にあたり、「見本市出展機」をテーマということで、メーカー6社の協力を得て開催されました。

ご説明をいただきましたメーカー各位には心よりお礼申し上げます。

尚、研修スケジュールは下記の通りです。

No.	時間	会社名	説明機種名	説明者
	9:15	開講挨拶 (受付 9:00より)		
1	9:20～ 10:10	ヤマザキマザック(株)	見本市出品機種	ヤマザキマザックシステムセールス(株) 中日本FA技術営業 成澤正彰
2	10:20～ 11:10	(株)牧野フライス製作所	見本市出品機種	国内営業部中部セールス1課 名古屋営業係 係長 青戸友和
3	11:20～ 12:10	DMG森精機(株)	見本市出品機種	製造・開発部小型機開発部部长 赤井孝行
	12:10～ 13:00	昼食		
4	13:00～ 13:50	オークマ(株)	見本市出品機種	可児技術部次長 大嶋賢治
5	14:00～ 14:50	(株)ジェイテクト	見本市出品機種	販売推進部企画室室長 泉大輔
6	15:00～ 16:00	(株)松浦機械製作所	見本市出品機種	営業本部営業事務主任 黒川浩二
	16:00～	閉講挨拶		



平成25年度 SE 講座実施報告

SE 講座は、下記 3 カ所で 3 日間の集合教育が実施されました。

東 京：10 月 10 日（木）～ 12 日（土）

名古屋：10 月 17 日（木）～ 19 日（土）

大 阪：10 月 24 日（木）～ 26 日（土）

受講者は、東京 38 名、名古屋 50 名、大阪 27 名で、総計 115 名となり営業知識に磨きをかけました。今回の SE 講座を受講された方々には開始しております通信教育を履修され、日工販 SE 資格を取得されることを期待します。

今年度のカリキュラムは下記の通りです。

SE 講座カリキュラム

第 1 日	第 2 日	第 3 日
(開講のあいさつ) ①切削機械の動向 ②研削盤の用途と研削加工の動向 <午前の部テスト> ③図面・加工法・切削理論 ④問題解決法と提案営業 <午後の部テスト>	①切削工具 ②品質・規格・測定 <午前の部テスト> ③生産システムと情報技術・ロボット技術 ④特殊加工（レーザー・電子ビーム放電加工） <午後の部テスト>	①販売実務・法律知識 ②生産性向上のための CAD/CAM ③塑性加工の動向と最近のプレス機械 <テスト>

講師の方々をはじめ、ご協力をいただきました関係各位には厚くお礼申し上げます。



平成25年度 更新研修実施報告

更新研修は、2カ所で2日間の集合教育が実施されました。

東京：11月8日（金）・9日（土）

名古屋：11月15日（金）・16日（土）

受講者は、東京27名、名古屋51名の総計78名。

カリキュラムは下記の通り。

更新研修カリキュラム（必修講座、特別講座）

第1日（必修講座）	第2日（特別講座）
開講挨拶・オリエンテーション ①最先端のものづくりと連携戦略 ②グローバル化と自動車部品産業 ③精密加工の原点とこれから ④投資効果の考え方 テスト・アンケート	①講演「商社マン、進学校校長の体験から ビジネス社会で見える事」 ②グループ作業「みんなで考えよう問題解 決策」討議・発表・質疑応答（午前午後 にわたり2回実施）、講評、総括 アンケート

特別講座のグループ作業では他企業の方との意見交換・討議となり好評をいただきました。

講師の方々をはじめ、ご協力をいただきました関係各位には厚くお礼申し上げます。





『提案営業力&技術提案力』向上研修会

教育委員会は毎年実施しているSE教育に加え、昨年に引き続き第2回の開催実施として、より専門性を深めた自動車産業分野に関する研修会を(財)日本立地センター立地総合研究所の協力を得て次の通り開催しました。受講生は前期37名、後期41名。

《 前期：提案営業力向上を目指す 》

前期：第1回 9月26日(木) (講義、グループ討議)

時間	(分)	講義名	講師(敬称略)
10:00~10:05	5	開講式	日工販副会長・教育委員会委員長 池浦捷行
10:05~10:10	5	オリエンテーション	日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子
10:10~11:20	70	1. 工作機械販売業界のグローバルな動向	日工販専務理事 宇佐美 浩
11:20~12:30	70	2. 次世代自動車の技術動向と今後の自動車産業	東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター(元トヨタ自動車) 客員教授 田中敏久
13:30~14:40	70	3. タイの投資環境—自動車産業を中心に	日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部アジア太平洋州課 課長 若松 勇
14:50~16:00	70	4. インドネシアの投資環境—自動車産業を中心に	日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部アジア太平洋州課 塚田 学
16:10~18:40	150	グループ討議(10グループ想定) 自己紹介、ケースreading、課題の提示、 グループ討議(以後はバーチャルで)	モデレーター： 日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子

前期：第2回 9月27日(金) (講義、グループ討議、グループ別プレゼンと講師による講評)

時間	(分)	講義名	講師(敬称略)
10:00~11:10	70	5. メキシコの投資環境—自動車産業を中心に	日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部中南米課 中畑貴雄
11:20~12:30	70	6. 自動車メーカーの海外展開活発な中での自動車部品の技術ニーズ	日本立地センター客員研究員、 元愛知機械工業 仁木信昌
13:30~14:40	70	7. 自動車部品サプライヤの技術開発とグローバル展開戦略	ヒルタ工業 代表取締役会長 書田眞三
14:50~16:00	70	8. 次世代自動車産業参入経営と海外展開戦略	多摩川精機 代表取締役社長 萩本範文
16:10~16:30	20	情報提供： ジェトロの中堅・中小企業の海外進出サポートについて	日本貿易振興機構(ジェトロ) 人材開発支援課長 吉川博史
16:30~17:00	30	グループ討議とりまとめ	モデレーター： 日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子
17:00~18:30	90	グループ別プレゼンと講師からの講評	講師： ヒルタ工業 代表取締役会長 書田眞三 多摩川精機 代表取締役社長 萩本範文 日本立地センター客員研究員、 元愛知機械工業 仁木信昌 日工販 専務理事 宇佐美 浩 モデレーター： 日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子

《 後期：技術提案力向上を目指す 》

後期：第3回 10月31日(木)

ユーザーの生産現場から見た効果的なものづくりー工作機械・生産設備編
(講義、パネルディスカッション、交流会)

時間	(分)	講義名	講師(敬称略)
10:00~11:10	70	9. 日産自動車のグローバル戦略と新車開発のコンカレントエンジニアリング	日産自動車(株)車両生産技術本部新車生産技術部 エキスパートリーダー 柳原 秀
11:20~12:30	70	10. エンジン部品メーカーにおける米国とタイへの進出と現地生産の現状と課題	川崎自動車工業 代表取締役社長 中島信明
12:30~13:30	60	11. 工場の海外展開における生産設備について	ジヤトコエンジニアリング(株) 取締役社長 今村博司
14:40~14:50	10	12. 生産現場のユーザーニーズ把握と技術提案のポイント	前ジヤトコ(株) 専務 海老原靖弘
16:00~16:10	10	パネルディスカッション： 海外展開するユーザーへの生産技術の提案について	パネリスト： 日産自動車(株) 車両生産技術本部新車生産技術部 エキスパートリーダー 柳原秀基 川崎自動車工業 代表取締役社長 中島信明 ジヤトコエンジニアリング(株) 取締役社長 今村博司 前ジヤトコ(株) 専務 海老原靖弘 モデレーター： 日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子
17:50~18:40	60	ワークショップ： ユーザーである講師と受講生による海外を中心とした技術提案を考える	6グループに別れて パネリストの講師とディスカッション 1グループ 柳原、2グループ 中島、3グループ 今村、4グループ 海老原、5グループ 宇佐美
18:40~20:00	80	交流会	

後期：第4回 11月1日(金)

次世代自動車部品の革新的技術編(講義・自己評価)

時間	(分)	講義名	講師(敬称略)
10:00~11:10	70	13. 自動車業界の動向とサプライヤーの海外展開における課題と対応	(株)ヨロズ
11:20~12:30	70	14. 中小企業の海外戦略(中国)	松本工業(株) 代表取締役社長 松本茂樹
13:30~14:40	70	15. 自動車の軽量化技術の現状と将来展望	ひろしま産業振興機構カーテクノロジー革新センター長、前マツダ株式会社技術研究所 副所長 山本幸男
14:50~16:00	70	16. グローバル市場で強みをもつ商品開発のフィロソフィーと実践	デルタ工業(株) 取締役、(株)デルタツーリング 常務取締役 藤田悦則
16:10~17:20	70	17. 世界への挑戦-その中で経験したこと	元本田技研工業 経営企画部長(役員待遇参事) 水戸部啓一
17:30~17:50	20	自己評価(アンケート含む)	日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子
17:50~18:00	10	閉講式	日工販 専務理事 宇佐美 浩





日工販SE合格者 第195回発表

2013年10・11・12月の合格者24名です。

2013年10月の合格者11名

認定No.	会社名	合格者名
13-22-2831	(株)京 二	熊谷 康之
13-22-2832	(株)共和工機	山崎 紀雄
13-22-2833	(株)ナチ常盤	清水 浩
13-22-2834	丸紅マシンツールズ(株)	甘利 有樹
13-22-2835	丸紅マシンツールズ(株)	曾根 和夫
13-22-2836	三栄商事(株)	高田 憲祐
13-22-2837	三栄商事(株)	坂本 弘毅
13-22-2838	(株)東 陽	松浦 祐介
13-22-2839	首都圏リース(株)	兼森 一能
13-22-2840	マーボス(株)	小川 洋
13-22-2841	山田マシンツール(株)	石田 浩明

2013年11月の合格者11名

認定No.	会社名	合格者名
13-21-2842	三菱商事テクノス(株)	中野 聖大
13-21-2843	植田機械(株)	庄司 稔
13-22-2844	(株)兼松KGGK	森本 健太
13-22-2845	(株)京 二	加藤 良一
13-22-2846	(株)京 二	山崎 智裕
13-22-2847	(株)共和工機	滝口 太郎
13-22-2848	三菱商事テクノス(株)	亀田 康貴
13-22-2849	ユアサ商事(株)	岡部 真章
13-22-2850	ワシノ商事(株)	原 嗣治
13-22-2851	植田機械(株)	田中 寿男
13-22-2852	三菱UFJリース(株)	三浦 幸訓

2013年12月の合格者2名

認定No.	会社名	合格者名
13-21-2853	(株)山 善	東 達也
13-23-2854	昭栄産業(株)	斎藤栄一郎

更新研修認定者(合格者) 第123回発表

2013年度の合格者78名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
13-18R-2352	(株)兼松KGGK	成澤 豊	13-18R-2368	三井物産マシンテック(株)	小田 哲司
13-18R-2242	(株)兼松KGGK	村山 敏夫	13-18R-2369	三井物産マシンテック(株)	黒川 大幸
13-18R-2329	(株)兼松KGGK	宮代 英洋	13-18R-2399	三井物産マシンテック(株)	小黒 義和
13-18R-2400	(株)兼松KGGK	金田 拓郎	13-18R-2326	三菱商事テクノス(株)	飯泉 恵
13-18R-2422	(株)兼松KGGK	小松 謙吾	13-18R-2218	三菱商事テクノス(株)	里見 佳彦
13-18R-2205	住友商事マシネックス(株)	村上 太郎	13-18R-2333	ユアサ商事(株)	谷 克彦
13-18R-2370	(株)テツカ	山崎 元士	13-18R-2250	ユアサ商事(株)	菱田 賢

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
13-18R-2415	釜屋(株)	位田 一憲	13-18R-2430	三菱電機(株)	南出 恵太
13-18R-1906	サンコー商事(株)	深谷 嘉仁	13-18R-2431	三菱電機(株)	坪田 泰幸
13-18R-1907	サンコー商事(株)	大石 哲也	13-18R-2432	三菱電機(株)	内ヶ島良平
13-18R-2058	サンコー商事(株)	依田 昌広	13-18R-2098	メルダシステムエンジニアリング(株)	宇佐美一生
13-18R-2088	サンコー商事(株)	吉川 哲二	13-18R-2099	メルダシステムエンジニアリング(株)	副田 和裕
13-18R-1445	(株)東陽	酒井 敦史	13-18R-2193	メルダシステムエンジニアリング(株)	加藤 敏也
13-18R-2353	(株)東陽	加藤 雅俊	13-18R-2228	メルダシステムエンジニアリング(株)	河村 和俊
13-18R-2354	(株)東陽	白川 博久	13-18R-1625	共友リース(株)	吉村 公一
13-18R-2355	(株)東陽	井上 雄介	13-18R-1667	共友リース(株)	森谷 裕司
13-18R-2439	(株)東陽	岩月 健	13-18R-2268	近畿総合リース(株)	鎌田 祥三
13-18R-2394	(株)東陽	山中 吉広	13-18R-2312	近畿総合リース(株)	名越 玄樹
13-18R-1398	浜松貿易(株)	松下 努	13-18R-2323	近畿総合リース(株)	藤濱 大輔
13-18R-1692	浜松貿易(株)	石津 匡賢	13-18R-2311	首都圏リース(株)	石丸 隆太
13-18R-2153	(株)ジーネット	稲垣健太郎	13-18R-2363	首都圏リース(株)	小林 邦生
13-18R-2162	(株)ジーネット	田中 盛康	13-18R-2364	首都圏リース(株)	中島 良太
13-18R-2350	(株)ジーネット	三谷 宏量	13-18R-2365	首都圏リース(株)	荻野 純一
13-18R-2139	(株)ジーネット	江川 哲郎	13-18R-2366	首都圏リース(株)	加藤 敦志
13-18R-2140	(株)ジーネット	入江 陽介	13-18R-2234	日立キャピタル(株)	外山 典明
13-18R-2157	(株)ジーネット	石川 敏文	13-18R-2267	日立キャピタル(株)	小田 益慈
13-18R-2342	(株)ジーネット	池永 純一	13-18R-2289	日立キャピタル(株)	褰岩 道頭
13-18R-2307	(株)ジーネット	長井 佳裕	13-18R-2290	日立キャピタル(株)	会田 綱紀
13-18R-2346	(株)ジーネット	城 秀治	13-18R-2292	日立キャピタル(株)	水本 一範
13-18R-2372	(株)ジーネット	下村 文人	13-18R-2293	山田マシンツール(株)	平松 輝行
13-18R-2419	西川産業(株)	井上 匡広	13-18R-2294	山田マシンツール(株)	木村 裕一
13-18R-2426	西川産業(株)	山元 伸悟	13-18R-2212	昭栄産業(株)	木村 清樹
13-18R-2423	宮脇機械プラント(株)	小谷 一樹	13-18R-2213	昭栄産業(株)	曾我 剛
13-18R-2424	宮脇機械プラント(株)	三村 吉弘	13-18R-2214	昭栄産業(株)	遠藤 強
13-18R-2281	(株)山善	有住 リカ	13-18R-2302	ひろぎんリース(株)	清水 実
13-18R-2304	(株)山善	井上 啓輔	13-18R-2316	ひろぎんリース(株)	一橋 芳徳
13-18R-2320	(株)山善	尾上 浩之	13-18R-2203	フジモト通商(株)	藤本 英彦
13-18R-2336	(株)山善	森 隆司	13-18R-2048	米善機工(株)	福島 慎吾
13-18R-2172	(株)北川鉄工所	山岡 章一	13-18R-2324	菱光商事(株)	花島 正裕

統

計

資

料

工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

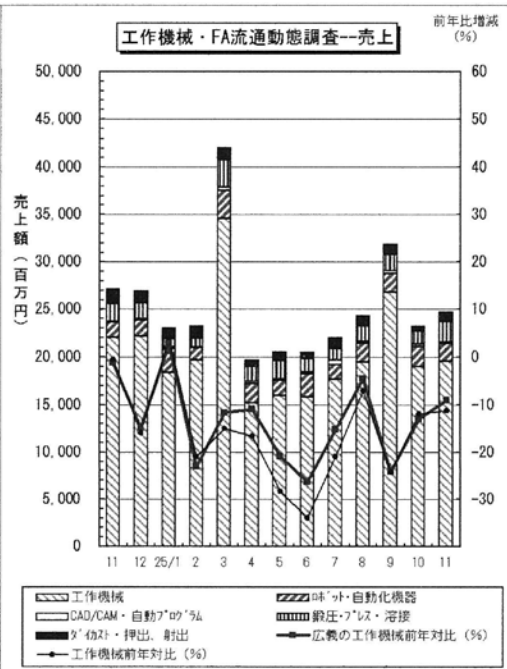
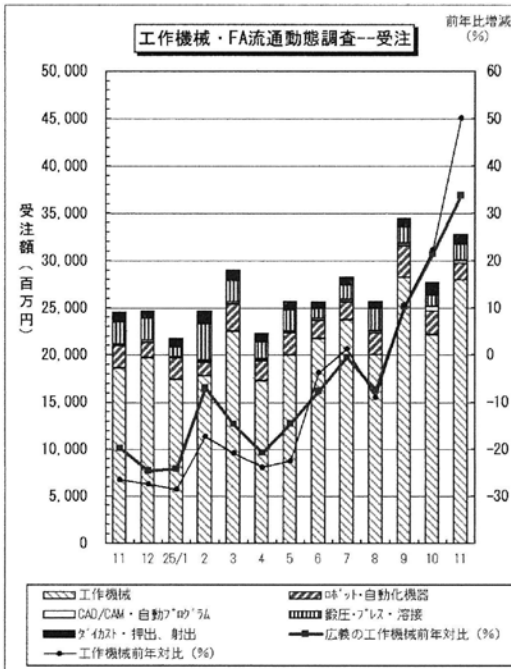
39社合計 調査月次	受 注				売 上					
	25/11	前月比	前年比	25/1-25/11	前年比	25/11	前月比	前年比	25/1-25/11	前年比
工作機械	27,940	26%	50.2%	238,501	-5.6%	19,565	3%	-11.3%	221,854	-17.7%
ロボット・自動化機器	1,757	-29%	-25.8%	24,666	12.6%	1,861	-12%	16.8%	22,392	8.9%
CAD/CAM・自動プログラム	317	-36%	119.4%	2,779	43.1%	170	-35%	52.2%	2,516	43.2%
鍛圧・プレス・溶接	1,729	45%	-26.0%	20,958	0.3%	2,108	60%	13.9%	17,412	-1.2%
ダイカスト・押出、射出	1,038	-24%	-0.8%	10,567	-11.4%	989	78%	-36.0%	10,895	-21.0%
小計	32,781	19%	33.8%	297,470	-3.8%	24,693	6%	-9.1%	275,069	-15.0%
工作機械以外の扱い商品	17,160	8%	13.0%	169,283	-0.1%	16,497	4%	-2.5%	173,649	0.0%
合計	49,941	15%	25.8%	466,753	-2.5%	41,190	5%	-6.6%	448,718	-9.7%
従業員数	1,345	0%	2.4%							

統計2

単位百万円

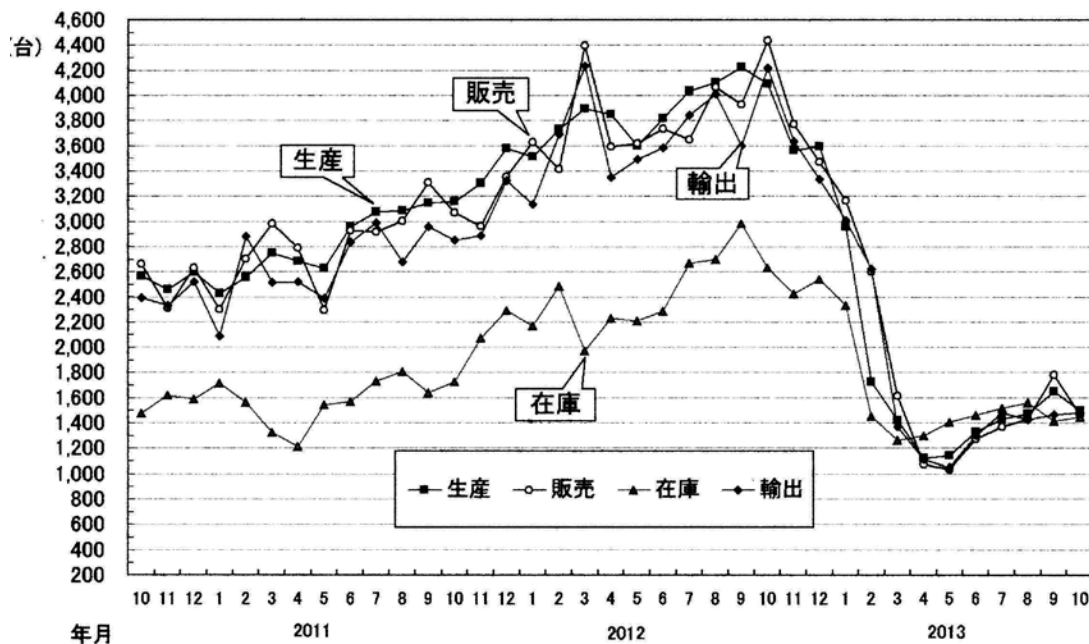
30社合計 調査月次	受 注				売 上					
	25/11	前月比	前年比	25/1-25/11	前年比	25/11	前月比	前年比	25/1-25/11	前年比
直販	21,489	26.1%	49.9%	182,981	1.3%	16,104	7.2%	-3.1%	169,443	-9.4%
(内リース)	661	19.9%	58.1%	7,380	-4.5%	686	-21.8%	7.9%	9,427	-6.2%
卸	6,864	11.4%	38.5%	63,839	3.9%	4,136	-1.4%	0.0%	54,837	-13.5%
輸入	840	-30.5%	-26.8%	11,331	-10.5%	1,082	-45.5%	-7.0%	14,727	9.5%
輸出	9,193	33.4%	6.8%	82,377	-22.1%	9,029	23.6%	-2.9%	88,314	-18.1%
(内間接輸出)	2,586	161.7%	-0.2%	13,919	-22.8%	1,125	-6.3%	28.3%	16,902	-25.4%
従業員数	999	-0.2%	1.1%							

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員71社中統計1に関しては39社、統計2に関しては30社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。

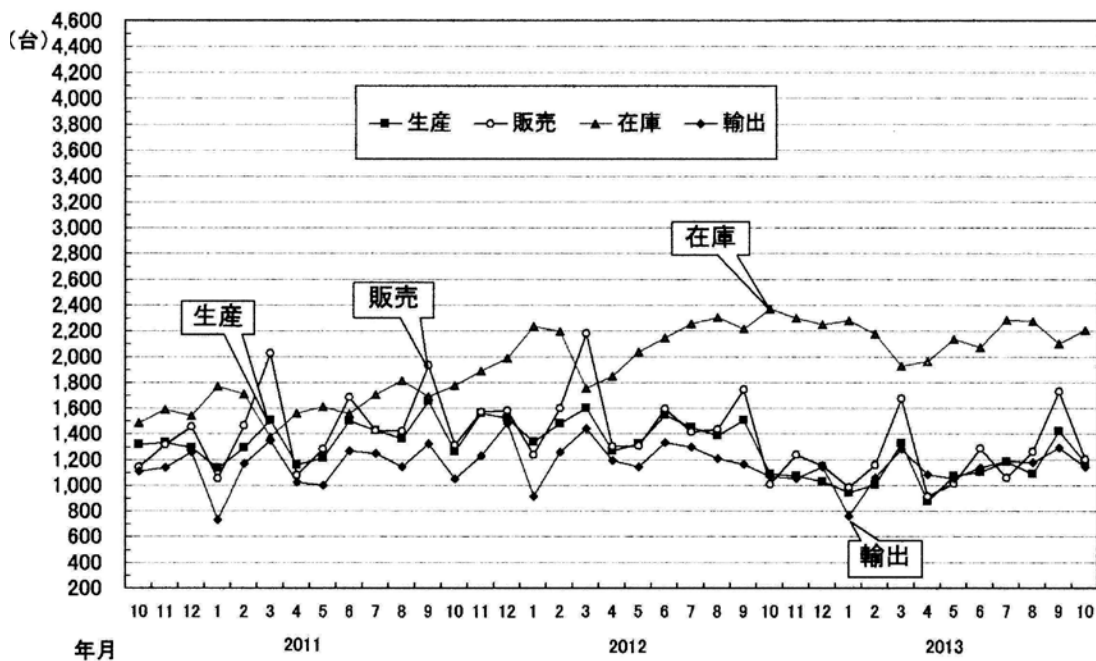


見てわかる 3年間の代表2機種の特長

マシニングセンタ動向



NC旋盤動向



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2013年11月)

11月分 12月17日発表

(単位：百万円、%)

需要業種	期間	2012年 累計	前年比	2013年 1~11月 累計	前年同期 比	9月分	前月比	前年同期 比	10月分	前月比	前年同期 比	11月分	前月比	前年同期 比
機械 製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	7,308	83.4	10,584	156.4	986	95.6	202.5	2,133	216.3	378.9	972	45.6	99.3
	2. 金属製品	14,272	86.0	16,302	125.6	2,529	164.4	149.6	1,278	50.5	133.1	1,481	115.9	112.8
	3. 一般機械 (内金型)	160,076	84.7	147,983	98.5	18,349	134.9	149.3	14,650	79.8	143.0	17,138	117.0	143.0
	4. 自動車 (内自動車部品)	21,897	100.4	23,405	114.4	2,522	121.5	152.5	2,904	115.1	194.5	2,800	96.4	150.2
	5. 電気機械	116,527	95.3	111,955	103.5	11,796	102.8	154.0	12,493	105.9	137.4	13,579	108.7	136.7
	6. 精密機械	72,989	87.2	74,085	110.2	8,432	111.0	185.7	9,719	115.3	154.9	10,027	103.2	180.4
	7. 航空機・造船・運送用機械	20,034	84.8	17,974	96.0	2,291	199.4	91.1	2,101	91.7	113.0	1,604	76.3	123.2
	3~7. 小計	16,008	70.0	12,883	84.8	970	73.7	67.4	1,072	110.5	101.6	1,509	140.8	120.0
	8. その他製造業	36,042	77.6	30,857	91.0	3,261	132.3	82.5	3,173	97.3	108.9	3,113	98.1	121.6
	9. 官公需・学校	18,986	139.0	20,851	121.3	2,361	75.8	130.8	1,959	83.0	110.5	2,620	133.7	171.7
	10. その他需要部門	331,631	89.3	311,646	100.7	35,767	116.7	139.1	32,275	90.2	134.3	36,450	112.9	140.2
	11. 商社・代理店	10,311	73.8	11,249	119.4	1,024	137.8	65.7	978	95.5	120.4	1,368	139.9	224.6
1~11. 内需合計	3,222	99.2	4,540	166.1	419	79.5	57.5	1,296	309.3	366.1	610	47.1	190.6	
12. 外需	5,824	110.2	5,116	93.4	671	137.8	122.7	436	65.0	73.6	353	81.0	114.2	
1~12. 受注累計	3,254	135.4	4,645	154.2	860	207.2	311.6	258	30.0	120.0	375	145.3	115.0	
(内NC機)	375,822	89.1	364,082	104.0	42,256	119.4	136.3	38,654	91.5	140.5	41,609	107.6	139.3	
	836,623	92.5	645,229	82.9	58,401	98.7	76.4	63,557	108.8	95.2	60,155	94.6	103.2	
	1,212,445	91.4	1,009,311	89.5	100,657	106.4	93.7	102,211	101.5	108.4	101,764	99.6	115.4	
	1,182,157	91.6	982,006	89.2	97,911	106.0	93.3	98,848	101.0	107.6	98,550	99.7	114.7	
販売額	1,329,650	112.7	988,247	81.1	123,231	142.8	88.1	79,408	64.4	87.8	82,506	103.9	86.4	
(内NC機)	1,293,883	113.1	963,299	81.3	120,601	143.0	88.5	77,456	64.2	87.7	80,171	103.5	86.9	
受注残高	543,736	83.2	564,802	98.8	522,722	95.9	90.9	545,541	104.4	94.3	564,802	103.5	98.8	
(内NC機)	519,224	83.3	538,067	98.5	498,264	95.7	90.8	519,672	104.3	94.1	538,067	103.5	98.5	

(注) その他製造業……… 楽器、皮革製品等の製造業

出所：(一社)日本工作機械工業会

理想のリーダー像



(株)テツカ
諏訪営業所副所長
山崎元士

理想のリーダー像について書かせて戴きたいと思います。

皆様も幼少の頃よりどんな場面においても大なり小なりリーダーが存在していたでしょう。小学校では学級委員・スポーツ少年団のキャプテン、学生時代であれば生徒会長や部活動の部長等がリーダーであり、羨望の眼差しと尊敬の念で接していたものでした。

社会人に成り会社組織に入りますと先ず直属のリーダーがおり、その上にはリーダーを纏めるリーダーがおり、またその先にも…という具合にリーダーは存在します。また、そのリーダーの方々の特長もまさに十人十色で、多少強引でもチームを牽引していくタイプ、先ず自分が行動しその背中を部下に見せ勉強させるタイプ、ビジョンを明確にし、それを部下に賛同させモチベーションを高めさせるタイプと様々です。そして若い世代の理想のリーダー像で度々名前が挙がるのがアップル社設立者の一人スティーブ・ジョブズ氏ですが、若い世代の方々は本当に判っているのでしょうか。ジョブズ氏は相当厳しい人で、要求する水準を満たせない者に対しては一切容赦しなかったので、スティーブされる(＝クビになる)という隠語が生まれた程です。こういうリーダーの下では相当の高い志と忍耐力が求められたでしょう。

また、興味深いデータがありましたのでご紹介致しますが、学生が戦国武将で選ぶ理想のリーダー像第一位は織田信長で、理由は絶対的なリーダーシップとカリスマ性の様です。これは自分もこう成りたいという願望も含まれているのでしょう。ジョブズ氏が選ばれる理由も同様なのかもしれません。しかしこれが会社組織の新入社員に成ると第一位が武田信玄で、「部下の能力を引き出しチーム力を高めてくれる」リーダーが理想の様です。若い世代に多い受身の姿勢が感じられる結果ではありますが、武田信玄のように部下が能力を発揮出来る環境を作り上げていくことがチーム力アップに繋がることは間違いありません。私的には厳しい環境に耐え、努力を重ね、実績を積み上げ長期政権の礎を築いた徳川家康が理想のリーダーなのですが、皆様は如何でしょう。リーダー、理想って本当に人それぞれです。これからのリーダーを目指す方々に、自分はその人みたいに成りたい、あんなリーダーに成りたいという想いを抱いてもらえる存在に成れるよう日々精進していきたいと思えます。

また、2013年の流行語で「いつやるの？今でしょ」が大賞の一つに選ばれました。今やれる環境を各部署で整えるのもリーダーの役割ですね。是非心掛けていきたいものです。

そして、こちらのお題が甘口辛口ですので、皆様にご提案です。時には部下に自分を採点してもらっては如何でしょうか？私は最近ある研修会がきっかけで、上司と部下に点数を付けて貰いましたが、大変興味深い結果でした。皆様の部下が甘口なのか、辛口なのかは結果が出てからの楽しみということで。釈迦に説法に非礼、平にご容赦下さいませ。

会員消息

社名変更…………… 東部地区正会員 日鋼YPK商事(株) ((旧)日鋼商事(株))
代表者変更…………… 東部地区正会員 (株)ヤマモリ 取締役社長 馬場 均

行事予定

西部地区新春時局講演会…………… 1月23日(木) 大阪産業創造館
調査広報委員会…………… 2月3日(月) 機械工具会館
東部地区若手研修会…………… 2月7日(金) 機械工具会館
教育委員会…………… 2月12日(水) 機械工具会館
東部地区情報交換会…………… 2月25日(火) 機械工具会館
政策委員会・定例理事会…………… 3月5日(水) 大阪産業創造館
政策委員会・定例理事会…………… 5月9日(金) マザックアートプラザオフィス棟
第45回通常総会・講演会・懇親会…………… 6月10日(火) 第一ホテル東京
政策委員会・定例理事会…………… 7月9日(水) 機械工具会館

展示会

nano tech 2014 第13回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
1月29日(水)～31日(金) 東京ビッグサイト
テクニカルショウヨコハマ 2014 第35回工業技術見本市
2月5日(水)～7日(金) パシフィック横浜展示ホール
第18回おおた工業フェア
2月13日(木)～15日(土) 大田区産業プラザ(Pio)
INTERMOLD 2014 第25回金型加工技術展
4月16日(水)～19日(土) インテックス大阪
MEX金沢2014(第52回機械工業見本市金沢)
5月15日(木)～17日(土) 石川県産業展示館
微細・精密加工技術展2014
5月29日(木)・30日(金) 大田区産業プラザ(Pio)
第12回中国国際工作機械展(CIMES)
6月18日(水)～22日(日) 新中国国際展示センター
難加工技術展2014
7月2日(水)～4日(金) ポートメッセ名古屋
IMTS2014(International Manufacturing Technology Show)
9月8日(月)～13日(土) McCormick Place, Chicago
JIMTOF2014(第27回日本国際工作機械見本市) 10月30日(木)～11月4日(火) 東京ビッグサイト

編集後記

- 新春を迎え、昨年(の)巳年を振り返ると、明るい出来事として、富士山の世界文化遺産登録、2020年夏季五輪オリンピックの開催都市東京に決定というビッグニュースがありました。経済的には日経平均株価が4年7カ月ぶりに13,000円を回復の一方、為替の円安による輸入品の一斉値上げ、消費税が5%から8%へのアップも決定され、消費者にとっては良いのやら、悪いのやら。外交問題では、尖閣諸島の国有化に伴う反日デモ続出、竹島の領土問題、関税撤廃ベースではないがTPP交渉への正式参加表明等々と、日本はどこへ舵を切っていくのか不安と期待と入り混じった出来事もありました。全般的には、今まで忍耐強くじっと辛抱し動きが止まっていた事柄が、一斉に動き出し、さてどちらに向かうのか戸惑った一年ではなかったでしょうか。今年は午年です。方向性と目標を確り定め、躍動感溢れる駿馬の如く真っ直ぐに走り、飛躍する年にしたいものです。(手塚)
- 今年こそはデジタル化を意識したいものです。昨年12月上旬、そろそろ今年用の手帳を準備しようと思い店先に足を運びましたが、店頭には並べられたデジタル手帳、デジタル文具の豊富さに驚かされました。手書きで書き込みのできる電子ノートや書き込んだ内容を端末に取り込んでデータ化してくれるものなど様々で、テクノロジーが文字通り日進月歩の勢いで進化していることは頭ではわかっているにも実際に身近に触れてみるとやはり驚くものがあります。パソコンにスマートフォン、加えてタブレット型端末と仕事をするうえで多くのデジタル機器が欠かせなくなっている現在、手帳もデジタル化してしまったほうがその恩恵をより享受することができるのかもしれない。やはり手帳は使い慣れた紙のものが一番しっくりくる、と思う気持ちに打ち勝ち、今年こそは「デジタル化」に挑戦してみたいと思います。みなさんもぜひトライしてみてください。(関)

「日工販ニュース」 Vol.4—2014

平成26年1月15日発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 宇佐美 浩
編集 日工販調査広報委員会
委員長 田尻哲男(株)豊通マシナリー)
副委員長 丹波 優(伊藤忠マシンテクノス(株))
委員 手塚正樹(双日マシナリー(株)) 中村龍二(株)トミタ
菊池一雄(株)ナチ常盤) 稲垣誠人(三菱商事テクノス(株))
港 省司(株)牧野プライス製作所) 関 秀利(日本GE(株))